

日本臨床衛生検査技師会など医療技術者 7 団体の代表は、2月26日、民主党の小沢一郎幹事長と面会した。この席で、7 団体側は政策要望書を小沢氏に手渡し、夏の参院選での民主党支持を約束。面会后、日本臨床衛生検査技師会の小崎繁昭会長は「これまで与党になった民主党と接触する機会がなかった。われわれが抱える問題を解決してほしいと（小沢氏）に申しあげた」と語った。

これまで 7 団体は自民党を支援してきた。しかし、政権交代後、政策を実現するメドがつかないため、民主党支持に転じることになった。すでに、日本歯科医師会の政治団体「日本歯科医師連盟」は19日の臨時評議員会で、参院選では民主党の比例代表候補を支援する方針を正式決定している。

このように、医療関係団体が続々と民主党に鞍替えするなかで、日本医師会とその傘下だけはまだ自民支持を崩していない。日医のなかには、こうしたことに危機感を抱いているグループもあり、今後の動向が注目される。